

地域包括支援センター通信
★大豊町の自主活動グループ紹介コーナー★

戸手野百手会 いきかつ交流会

10月5日に天坪地区複合集会所^{のぞみ}で「戸手野百手会いきかつ交流会」が開催されました。2年前の「第1回いきかつ交流会」でおおとよ民踊と出会い、『(百手会に)踊りに来てくれることはできますか?』『行くで!やれるさね。』という会話をきっかけに今回の交流会が実現しました。



交流会は、大豊町内から5団体が集まり、出演者たちがすてきな衣装に身を包み、歌や踊りで会場を大いに盛り上げました。終始にぎやかで、笑顔あふれる時間となりました。また、久しぶりの再会を喜び合う姿もみられ、参加者同士の絆の深さが感じられるひとときとなりました。



大募集!

介護予防はいつからでも始めることができます。いつまでも元気に過ごすため、地域の介護予防活動に参加してみたい方や活動を始めてみたい方は、包括支援班までご連絡ください。
包括支援班では引き続き、地域のお達者さんも募集しています。自薦他薦は問いません。



問い合わせ先 地域福祉課 包括支援班 大豊町地域包括支援センター

CIR通信

ドイツ文化における「Gemeinschaftssinn」—共同体意識

以前の記事で紹介したドイツの祭りは、ドイツ文化に深く根付いている価値観、すなわち「Gemeinschaftssinn」(ゲマインシャフトジン/共同体意識)の表れでもあります。この言葉は「Gemeinschaft」(共同体)と「Sinn」(感覚、意識)を合わせたもので、単なる協力以上の意味を持ちます。自分の家族の範囲を超えて互いを思いやり、責任を分かち合う姿勢を表しています。

代表的な例が「Freiwillige Feuerwehr」(ボランティア消防団)です。多くの町では90%以上の消防士がボランティアで、火災が起ればすぐに駆けつけて地域を守ります。

このGemeinschaftssinnは、ドイツの福祉制度にも反映されています。1880年代、ドイツで世界初の国民社会保険制度が導入されました。健康保険、労災保険、そして「Invalidenrente」(就労不能年金)などです。こうした福祉制度は困窮した人々が犯罪を犯すことを防ぎ、重い障害を負った場合も国が面倒を見ることで兵士たちに大きな安心をもたらしました。

更にクラブ活動「Vereine」もGemeinschaftssinnの象徴です。ドイツ人の約半数が何らかのクラブに所属しており、私自身もアコーディオン・オーケストラに参加していました。

日本が「和」や地域のつながりを大切にするように、ドイツもGemeinschaftssinnを重んじます。社会は互いに思いやることで最もよく機能するのです。

プッハルスキ ニック アレクサンダー



※12月の英会話教室の日程が右記のとおり変更になります。ご注意ください。

変更前	変更後
12月9日(火)中級クラス 18:00~20:00	12月16日(火)中級クラス 18:00~20:00
12月10日(水)初級クラス 19:30~20:30	12月17日(水)初級クラス 19:30~20:30

よちよち だより

地域子育て支援センターよちよちからのお知らせ

12月の予定

月	火	水	木	金
1 よちよち 制作活動	2	3 よちよち 保育士さんによる 絵本の読み聞かせ	4	5 よちよち
8 よちよち	9	10 よちよち 保育士さんによる 絵本の読み聞かせ	11	12 休み
15 よちよち カレンダー作り	16	17 よちよち 保育士さんによる 絵本の読み聞かせ	18	19 よちよち
22 よちよち	23	24 よちよち 保育士さんによる 絵本の読み聞かせ	25	26 よちよち
29 休み	30	31 休み	1	2



【場 所】大杉保育所内
【開設日時】月曜日・水曜日・金曜日
(年末年始・祝日を除く)
※保育行事等で変更する場合があります。
午前9時~正午
【電 話】72-0056